交付金活用する

17事業 補正予算可決

新型コロナウイルス感染症対応
地方創生臨時交付金　って何？

地方自治体が行う新型コロナウイルス感染症対策に係る、各種の取組を支援する目的で国より配分される交付金のことです。

第一次配分として様似町には約6，000万円が交付されました。

5月臨時会、6月定例会にて補正予算を可決した際には、休業支援金事業や、町民ひとり5枚のマスクを配布、また、地域応援券事業（町民ひとり1万円のアポイクーポン券）などの取組に活用しました。

補正予算

令和2年度予算において、一般会計、国民健康保険事業特別会計、水道事業会計の補正を可決しました。

一般会計の主な内容については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（第二次配分）を活用した各事業となります。

条例

◆職員旅費額及び支給方法に関する条例の一部を改正する条例の制定について

◆様似町空き家等の適正管理に関する条例を廃止する条例の制定について

◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための様似町国民健康保険に係る保険給付の臨時特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について

以上、2件の条例改正案、1件の条例廃止案が提出され、原案通り可決されました。

人事案件

◆様似町教育委員会委員の任命について

↓能登秀志氏が新たに任命されました。

◆様似町監査員の選任について

↓早坂一範氏が引き続き選任されました。

臨時交付金活用事業一覧（第二次配分）

事業名	概要	金額
発熱外来整備事業	町民への医療体制確保のため、町内医療機関２階へ発熱外来を整備する際のトイレ設置費用を補助	４１０万円
救急搬送対応事業	発熱者等の救急搬送に対応するため防護服・搬送資材等（フェイスシールドほか衛生消耗品）の購入	３７万３千円
教育・公共施設安全・安心確保事業	感染症防止のため小中学校の教壇等にアクリルパーテーションの設置	３６万１千円
	公民館において、換気対策のため網戸の設置	４６万５千円
	感染予防のため郷土館へ空気清浄機の設置	６０万８千円
	飛沫感染防止のためトレーニング室にパネル等と換気対策のため網戸の設置	１７６万１千円
小中学校換気対策事業	換気対策のため小学校へサーキュレーター、中学校へ網戸の設置	７６万３千円
幼児センター換気対策事業	換気対策のため幼児センター保育室にエアコンとサーキュレーターの設置	４１３万８千円

9月定例会

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（第二次配分）

約2億円

令和2年度各会計補正予算結果

会　計　名		補　正　額	補正後の総額
一　般　会　計		3億1,067万7千円	52億3,292万8千円
国民健康保険事業特別会計		53万5千円	6億6,047万1千円
水道事業会計	収益的支出	△15万4千円	1億5,389万7千円

意見書

「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書」

新型コロナウイルス感染症対策が長期化する中、地方への安定的な財源の確保を求めるもの。

「国土強靭化に資する道路の整備等に関する意見書」

高規格幹線道路や道路網の整備の充実・強化を求めるもの。

以上、２件の意見書案が提出され、原案通り可決されました。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生

事　業　名	概　要	金　額
公共施設衛生確保事業	健診時の感染予防のため感染防止パネル、充電式噴霧器の購入	１１０万円
	感染予防のため公共施設の洗面水栓を自動化し、直接的な接触を防止	１，１６２万５千円
	感染予防及び除菌・換気対策のため幼児センター調理室へエアコン、食洗器、食器消毒保管器の設置	４０７万７千円
防災活動支援事業	避難所開設時に３密を避けるため、複数箇所に開設できるよう必要備蓄品を購入し、３ヶ所の開設予定施設へ備え付ける	２，０００万円
アポイクーポン発行事業	町内事業者と住民生活緊急支援のため、全住民に２万円のクーポンを支給	８，７７９万円
ワーケーション受入整備事業	様似町に滞在しながらテレワークを実施できる環境を整備し、関係人口の創出を図る	７５０万円
高度無線環境整備推進事業	町内全世帯で高速通信サービスを受けられるよう、民設民営で実施する光ファイバー網整備に係る負担金	４，７８５万６千円
Ｗｉ－Ｆｉルーター配布事業	高度無線環境整備推進事業に伴う新規加入促進のため、Ｗｉ－Ｆｉルーターを無料配布	１２０万円